

## 平成29年度リサイクルポート4港合同勉強会及び 第7回酒田港国際資源循環フォーラムが開催されました

10月11日（水）、日本海側のリサイクルポートに指定されている能代港（秋田県）、酒田港、姫川港（新潟県）、境港（鳥取県・島根県）の連携を図ることなどを目的とした、平成29年度リサイクルポート4港合同勉強会が、酒田市内で開催されました。この中で、国土交通省港湾局海洋・環境課の奥田健港湾環境政策室長がリサイクルポート施策に関する情報提供を行いました。

その後、対岸諸国との国際資源循環ネットワークの構築などを目的とした、第7回酒田港国際資源循環フォーラムが同所で開催され、株式会社リーテム サステイナソリューション部 小林均副部長が、「東京港における広域共同海上輸送システムの検討と酒田港とのリサイクル連携の可能性」と題し、サミット酒田パワー株式会社 高瀬正道代表取締役が、「酒田北港の最新情報。バイオマス発電所からの地域連携提案」と題し、講演されました。また、鼎談では、東北大学大学院国際文化研究科 劉庭秀教授が、「酒田港に循環資源を集約させるには」をテーマに話された後、小林氏、高瀬氏からそれぞれ、酒田港が今後利用拡大するためのアドバイスなどを伺いました。



リサイクルポート4港合同勉強会の様子



リサイクルポート施策について説明する奥田室長



酒田港国際資源循環フォーラム 講演  
株式会社リーテム サステイナソリューション部  
小林副部長



酒田港国際資源循環フォーラム 講演  
サミット酒田パワー株式会社  
高瀬代表取締役



酒田港国際資源循環フォーラム 鼎談  
東北大学大学院国際文化研究科  
劉教授



酒田港国際資源循環フォーラム 鼎談の様子

